

平成26年度（平成26年4月～平成27年3月）再資源化預託金等の運用の実績

■平成26年度（平成26年4月から平成27年3月末まで）に資金管理人の口座に入金となった預託金額は565億円でした。これに平成25年度からの繰越金122億円（平成25年度末入金102億円、流動性確保額20億円）、運用収入112億円及び債券満期償還金861億円を加えた1,661億円から、メーカー等へ払渡した金額357億円、輸出返還の金額182億円及び他会計へ繰入れ（資金管理人及び指定再資源化機関への繰入れ等）した金額2億円と平成26年度末の入金分89億円及び平成26年度の流動性確保額の25億円の合計655億円を差引いた1,005億円が運用可能な金額でした。この資金にて、国債929億円、政府保証債76億円の合計1,005億円の債券を取得しました。

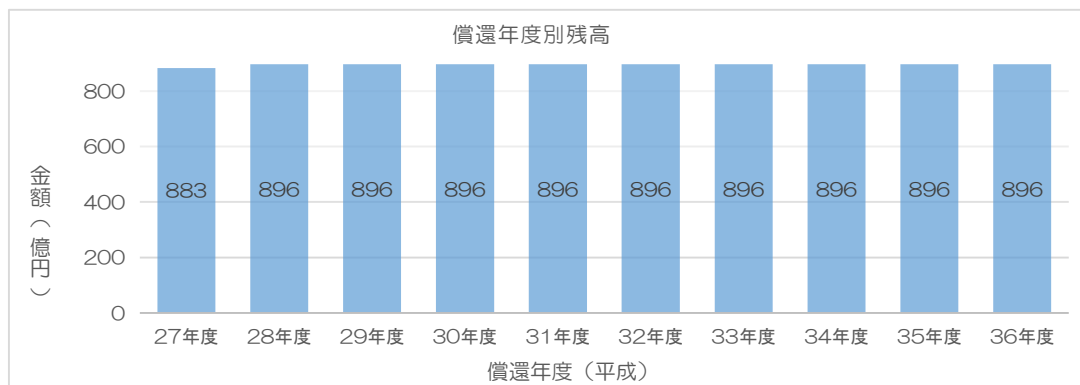


■平成26年度の新規取得債券の種別構成比は、国債92.4%、政府保証債7.6%となり、計画通り市場の構成比に準じたものとなりました。

■平成26年度の新規取得債券の実績最終利回りは、評価指標利回りを0.02ポイント上回りました。

実績最終利回り(A)*2	評価指標利回り(B)*3	(A)-(B)
0.43%	0.41%	0.02

■平成26年度末（平成27年3月末）の保有債券の残高は次のようになり、償還年度別の構成は、計画通りラダー型となりました。



■各年度末の保有債券全体の最終利回りの推移は次のようになっています。

平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
1.15%	1.24%	1.32%	1.37%	1.37%	1.35%	1.29%	1.21%	1.11%

*1 債券の運用を次期に繰越した額及び支払経過利息の合計額。支払経過利息とは、債券を購入する際に売手に支払った前回利払日翌日から購入の受渡日までの日数分の利息相当額のこと。

*2 当年度に取得した債券の加重平均利回り

*3 当年度における市場での日々10年利付国債の2年から10年までの各年限の最終利回りを、当年度における各年限の債券の取得比率実績により加重平均したもの。

※ 四捨五入の関係で合計が合わない場合があります。

※ 詳細は「資金管理業務諮問委員会の報告 第62回（平成27年6月5日開催）資料4-1」をご参照ください。

以上